

いあらし

新しい年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

公職選挙法により、新年の挨拶状をお出しするのを

禁止されておりますので、この活動報告をもって、ご挨拶に代えさせていただきます。

お正月と言えは、お雑煮ですが、食へられませんでしたでしょうか？

皆さんは、白味噌派ですか？それとも、お澄まし派ですか？

私は、普通のお味噌で濃いめのお出汁に、大根、人参、鶏肉を入れて食べるのが大好きです。なぜなら、上谷家の味つけが、いつもこの方法だったからです。

いわば、母の味ですね♡

ちなみに、病院食でも、お正月はお雑煮やおせち料理が出るんですよ。

ご自宅へ入院できない方や、入院を余儀なくされている方にとっては、ささやかな楽しみになっていると思います。

さて、前置きはこれくらいに致しまして、心新たに市政報告を執筆しましたので、ご質問の件、お答えさせていただきます。

西宮市議会議員 上谷幸美 かみたにゆみ



西宮市議会議員 上谷幸美

かみたにゆみ市政報告

KAMITANI EXPRESS

vol.4



市議会議員のふだんのお仕事

ご存知
ですか？

「市議会議員って、ふだんは何をしているの？」



市 議会議員になって3年半が経過しましたが、市民の方々と接すると必ず話題になるお話です。議員によって、それぞれ活動内容や目標は違いますが、基本的には3月、6月、9月、12月の年4回、定例会が行われ、お金(税金)の使い方やルール(条例)を決めています。

どちらも、市から議会に提案があり、議会が多数決で決定して正式な市の方針となるのです。9月には前年度の決算審査、3月には次年度の予算審査があり、膨大な資料を読み込んで市職員と議論する必要があるため、特に大変です。

また、一般質問という形で、議員個人が市に政策提言をする機会もあります。

私の会派(政新会)では、それぞれの議員が年2回、持ち時間は約60分で、一般質問することになっています。(私の行った一般質問については、裏面で詳しくご説明致します。)

定例会以外の時期は、自身が所属する常任委員会(私でしたら、健康福祉常任委員会)で、重点的に研究するテーマ(施策研究テーマ)を決めて、それらについて勉強し、市当局へ提言を出していきます。

それに加え、他市へ先進事例を学びに行く管外視察、市内の状況を現場で確認する管内視察などに行くこともあります。

また、市民の方々のご相談をお受けしたり、行事や式典に参列したりするのも重要な仕事です。

このように、資料を読んだり会議をしたりどこかに出かけたり、何かとバタバタしているのが、私の市議会議員としての日常となっています。どこかで私を見かけたら、お気軽にお声掛け下さいませ。

もちろん、市役所や山口事務所にも遊びに来て下さいね！



定例会の度に、
たくさんの資料を
読み込みます！



上谷幸美 後援会の入会者をご紹介下さい☆

上谷幸美事務所では、上谷幸美を応援して下さる方を募集中です。「後援会」と言っても堅苦しい雰囲気ではなく、一緒に事務所でお茶を飲みながら情報交換などでできればと思っています。メールやFAXなどで、お気軽にご連絡下さい！

氏名
フリガナ
電話番号
住所
メールアドレス

お申込み先

TEL:078-903-0246

FAX:078-903-0270

MAIL:kamitaniyumi@gmail.com

最新の一般質問をご紹介します！

12月定例会で行った一般質問の内容をご紹介します。

今回は、北部地域の課題を中心にお伝えしましたが、今回は、私の専門でもある医療分野を中心に、全市的な課題についてお伝えできれば幸いです。皆さんのご意見も、是非お聞かせ下さい！



① 介護人材の確保について

私の質問

平成27年9月定例会で行った質問の経過と、今後の方向性の確認をさせて頂きました。今後、超高齢社会などの社会環境の変化の中で、様々な分野で人材が不足すると考えられます。

・有効求人倍率@ハローワーク西宮(平成30年8月時点)
全職種:1.63
介護分野:4.07
→他の職種に比べて人材が不足しています！

・介護職員の需要見込み@兵庫県老人福祉計画
2017年度:88,300人
2020年度:97,700人
→3年間で約9,400人を確保しなくてはなりません！

介護人材の不足は、介護難民を生むだけでなく、要介護度の悪化や家族の生活破綻を伴う大きな社会問題へとつながる危険があり、それは、社会保障費の増大を加速させる、という連鎖を生み、他の産業における就労者不足とは違った対策が、国、県、市で必要であると思われま

す。その対策のひとつとして、介護職員に必要な資格を取得するための研修費用の助成事業を、他市の導入事例も参考に、西宮市も検討すべきと考えますが、市の見解をお聞かせ下さい。

市の答弁

介護職員初任者研修は、介護保険・障害福祉の両分野における介護サービスの基本的な事項を網羅した内容となっており、本研修受講者に対する費用助成は介護分野への就労を志す人を後押しするだけでなく、既に無資格でも従事可能な業務に就いている人にとってはキャリアアップや定着支援、事業者・利用者にとってはサービスの質の向上につながる効果が期待できます。

また、議員ご指摘のとおり、第7期介護保険事業計画策定に関する国の指針において、市町村においても介護人材確保に向けた取組に努めるよう示されたことから、介護職員初任者研修受講費助成を実施できるよう検討してまいります。

私の意見

私が、平成27年に質問した時より、前向きな御答弁を頂けたと嬉しく思っております。介護職員初任者研修を受けたらと必ず人材確保へ直結するとは限りませんが、この研修を受けた人を、継続的に何らかの形で、フォローし、就労につながるよう市としても対策を立てておかなければならないと思います。核家族化によって高齢者と密に触れ合うことがない若い世代にとって、介護の世界は賃金が安く、心身ともにきついというイメージがあります。そうした一面もあるので仕方ない部分もありますが、介護と言う職業のイメージアップから、そして、受講費助成だけに止まらず、例えば、初任者研修から始めるとして、実務者研修などへの助成拡大も視野に入れるなど、キャリア形成がはじめるからイメージできるような取り組みを合わせてご検討いただくよう要望しておきます。

② 停電や災害時に電源を必要とする在宅患者への対応について

私の質問

皆様のご記憶にも新しいと思いますが、昨年の台風被害において、大規模な停電が生じ、大変な混乱が生じました。私が聞く中でも、老人保健施設ごと停電となったため、入所者の方全員を自家発電装置のある病院へ移動させる事態に、陥ったという例がありました。

この他にも、在宅で電気を必要とする医療機器(人口呼吸器など)を使用されている方が、このような停電の際、この度も大変に混乱され、そして対応に苦慮されたと伺っております。

神奈川県など他の自治体では、平時からの課題抽出や災害時の具体的な対策が検討段階にあります。そこで、以下3点を質問します。

1. 西宮市では、常時人工呼吸器を使用している在宅の方をどのような方法で把握されていますか？
2. 平時より当事者に対し、緊急時に対する対処法が必要と考えますが、現在どのような対応を行われていますか？
3. 人工呼吸器を常時使用している人すべての在宅患者に、災害対応マニュアルなどを用いて緊急時の対応に備える必要があると考えるが、市の見解は？

市の答弁

1. 人工呼吸器を使用する人には、介護保険サービスや障害福祉サービスなど医療や介護などの支援が必要となるケースが多いため、本市では、指定難病に関する医療費助成申請や障害支援区分認定などの判定の際に必要な診断書や調査票により把握することができます。

2. 難病患者に対しましては、保健師が自宅に訪問し、支援者の連絡先や災害情報・避難情報の入手方法、自宅付近の危険個所の確認を行うなど、その人に応じた個別災害対応マニュアルの作成を行っております。

3. 人工呼吸器を常時使用している方にとって、停電は深刻な事態であると認識しております。

今後は人工呼吸器を常時使用しているすべての方に対して、保健師が持参した災害対応マニュアルに人工呼吸器の仕様や、連携が必要な関係機関などを確認した上で記載することにより、停電時にご本人やご家族が適切に対応できるよう取り組んでまいります。

私の意見

生死を左右するすべての人工呼吸器が必要な在宅患者さんのためには、受け入れ可能な医療機関の情報や、医療用バッテリーの貸し出しに関する情報など、継続して人工呼吸器を作動させるための現実的に必要な情報をできるだけ早くお届けすることが重要です。また、これらの在宅における医療機器と密接に関わっておられるのは訪問看護師であり、在宅医の方々です。

支援者側、訪問看護師、在宅に関わる医師、医療機関、薬剤師、訪問看護師、医療機器メーカーなどの方々とも密に連携をとって頂き、これらの情報や医療資源を活用して有効な支援に結び付けてください。

今回の停電における問題を再度整理し、そして、何が問題でありどうするべきなのか再検討して頂き、西宮は「長時間停電が起きても安心できる」と思っていただけのような早急な対応ができますよう、宜しくお願い致します。

難病医療費受給者等: 48
身体障害者手帳所持者: 5
要介護認定者: 1
合計: 54
(平成30年10月末時点)

◎プロフィール

昭和48年(1973年)10月1日生まれ。西宮市立山口小学校、山口中学校卒業。

川崎医科大学付属高校、川崎医科大学卒業。

医師免許取得、現在は高田上谷病院副理事長。平成27年4月、前市議会議員である上谷幸彦(7期連続当選、西宮市議会議長などの要職を歴任)の想いを継承し初当選(現在1期目)。

平成28年4月、上谷学園 幸幼稚園理事長就任。

日本舞踊 音羽流 名取 音羽菊美弥幸

発行:西宮市議会議員 上谷幸美

連絡先:かみたにゆみ事務所

◎上山口事務所 〒651-1421 西宮市山口町上山口4丁目5-12

◎下山口事務所 〒651-1412 西宮市山口町下山口5丁目3-7

TEL:078-903-0246 FAX:078-903-0238

MAIL:kamitaniyumi@gmail.com

HP:http://www.kamitaniyumi.com